

## 「天塩川下流汽水環境検討会」の開催について

～天塩川下流地区自然再生の検証・評価を行います～

留萌開発建設部では、平成21年3月に策定した「天塩川下流汽水環境整備計画」に基づき天塩川下流において、良好な汽水環境の回復を図るために天塩川下流地区自然再生を進めてきたところで

す。  
本計画では、「天塩川下流汽水環境検討会において、モニタリングで得られた結果等をもとに、継続的に検証・評価を行っていくこと」と定められており、これに基づき検討会を開催します。

### 記

1 開催日時

平成29年3月2日（木） 15：00から（2時間程度を予定）

2 開催場所

幌延町深地層研究センター国際交流施設

北海道天塩郡幌延町宮園町1-8 TEL 01632-5-2772

3 議事

天塩川下流地区自然再生の検証・評価について

4 公開等

- ・会議は取材可能ですが、カメラ撮影は会議冒頭部分のみとします。
- ・会議での配布資料等は留萌開発建設部のホームページに掲載します。

[http://www.rm.hkd.mlit.go.jp/teshio\\_kai/kisui/index.html](http://www.rm.hkd.mlit.go.jp/teshio_kai/kisui/index.html)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-43-5515  
治水課 課長 大山 孝（内線 291）  
治水課 上席治水専門官 渡邊 一靖（内線 309）

○天塩川下流汽水環境検討会委員名簿

	氏名	所属
●有識者	おかだ ほうじ 岡田 鳳二	公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社 技術顧問
	くれち まさゆき 呉地 正行	日本雁を保護する会 会長
	さいとう けいすけ 齊藤 慶輔	猛禽類医学研究所 代表・獣医師
	ささき よしたか 佐々木 義隆	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 さけ・ます内水面水産試験場 内水面資源部 内水面資源部長
	しんめ りゅういち 新目 竜一	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム 上席研究員
	たかはし ひでのり 高橋 英紀	NPO法人 北海道水文気候研究所 理事長
	たちばな はるくに 橘 治国	NPO法人 水圏環境科学研究所 理事長
●地域住民	わた べ あきら 渡部 旭	NPO法人 天塩川を清流にする会 理事長
●漁業関係	た なか こう 田中 浩	北るもい漁業協同組合 天塩支所長
●地元行政	ながせ けいじ 長瀬 啓嗣	天塩町役場 商工観光課 課長
	あ お の ともゆき 青野 朋之	天塩町役場 農林水産課 課長
	さくらい たけひさ 櫻井 丈久	幌延町役場 産業振興課 課長

(五十音順、敬称略)

○「天塩川下流汽水環境検討会」とは

天塩川本川下流において鳥類や魚類、汽水性底生生物が生息生育できる多様な汽水環境の回復に関する事項、観光や漁業など河川の利活用と河川環境との共存・共生に関する事項について、河川環境に関する学識経験者や天塩川下流域に関する知見を有する方々の意見を聴取するため、設置しています。

詳細は留萌開発建設部 HP（以下アドレス）をご覧ください。

[http://www.rm.hkd.mlit.go.jp/teshio\\_kai/kisui/index.html](http://www.rm.hkd.mlit.go.jp/teshio_kai/kisui/index.html)

○天塩川下流地区自然再生とは

緩傾斜で底質が砂質の好適な汽水域の環境・流速の緩やかな静水環境を再生することにより、天塩川下流汽水域がかつて有していたオジロワシが飛来越冬する環境の回復を目標としています。

対象とする区間は、年間を通して塩水が遡上しているK P 0. 0～K P 1 4. 0付近までとしています。再生目標とする年代は、浚渫・掘削、川幅の拡幅、これに伴う埋め戻しが本格的に始まる前の昭和40年代としています。